宮崎公立大学の今を伝える

MMU SHiP

エムエムユー シップ

vol.21

2026. November







巻頭特集

ゼミで広がる、大学の学び





学生企画 1 知ってほしい MMUのおもしろ講義

学生企画 2 3人の先輩のターニングポイント

学生企画 3 先輩が語る キャリア体験の魅力

留学企画

センパイ、留学のホンネ、教えてください!

MMU SHiP 連載

CIRCLE de GOSHiP

KYO SHiP

未来のCompass

「好き」に、出会おう

ゼミで広がる、大学の学び

人文科学、社会科学だけでなく、情報学や防災といった自然科学まで ――
宮崎公立大学には、様々な興味や関心を出発点に、仲間や先生と考え、調べ、議論しながら学びを深める、多彩なゼミがあります。この特集では、29 のゼミを通して、それぞれの学びのテーマや特色、身につく能力などをご紹介します。あなたの「好き」や「なぜ？」は、どんな学びにつながるでしょうか？

①ゼミ生に多い卒業後の進路
②ゼミの特色・読者（主に高校生）に向けたメッセージ など

国際文化学科　新設 国際情報学科

各学科の詳細はこちらをチェック！



①ゼミ生に多い卒業後の進路　②ゼミの特色・読者（主に高校生）に向けたメッセージ など

Intercultural Communication
ダッカー・ネイサン



❶インフルエンサー、アニメ作家、教員、公務員、不動産など
❷学生たちは、マーケティング、観光、教育など、様々な場面で文化や文化の違いがどのように扱われているかを学びながら、幅広い学習スキルを身につけます。その過程で、学生たちは各自が興味を持つ卒業研究のテーマを選びます。例えば、野球選手が使う言葉、ジェンダーレスファッションの普及方法、過疎化が進む地域における公民館の役割、地元企業や学校への移民労働者の共生などです。

社会学
倉 真一



❶旅行・ホテル、金融、公務員など
❷社会学の見方・考え方（理論や方法）を使って、社会のいろいろなレベルの「当たり前」がなぜ私たちを捉え、どんな社会をつくり出しているのかを理論的、実証的に研究します。それは個人の自由を考える上でも、より良い社会を構想する上でも大事なことです。

英語教育学
宮内 なぎさ



❶教員（小学校／中高英語）
❷英語教員養成のゼミです。英語教育に関する文献を読み、日・英の両方でプレゼンテーションを行ったり、教育関係のテーマに関してディスカッションをするなど、将来現場で活かせる力を養成します。

メディアとジェンダー
四方 由美



❶マスコミ関係、航空、銀行、公務員など
❷メディアとジェンダーを取り巻く問題へのアプローチを通して、社会課題を探究します。学生が企画・制作した「ジェンダーすごろく」を行うジェンダーカフェの開催など、学びを生かした情報発信活動にも取り組んでいます。

教育心理学
野﨑 秀正



❶教員、IT、公務員など
❷教育心理学ゼミでは、学校教育に限らず、家庭や職場など多くの場面における「学び」に関する心のメカニズムについて研究をしています。心理学は意外にも理系寄りの学問ですので、価値の議論より科学的真実の探究に関心がある人に向いていると思います。

中国文化論
田宮 昌子



❶物流、メーカー国際部門、公務員など
❷単に中国文化について知識を増やすのではなく、「文化とは何か」を考え、異文化への向き合い方を学びます。留学生や市民との交流を行うサークルとも連動しています。また公費留学申請の指導など皆さんの夢の実現をサポートします。

政治学
下村 太一



❶民間企業、公務員など
❷ポピュリズムの台頭、デジタル時代の民主主義、ジェンダーと政治など、現代政治の最先端のテーマを扱い、テキストを丁寧に読み解きながら議論します。本を読むのが好きな方や自分のことばで政治を語る力を身につけたい方におすすめのゼミです。

国際法
田村 恵理子



❶公務員（市役所など）、銀行
❷国際法は、国際社会で日々起こっている出来事を、諸国家と人々の「あるべき状態」から分析します。それは条約や慣習法に表われています。戦争・平和、人権保障、環境保護、領土問題、宇宙活動など、皆さんの興味ある分野から実例を通して学び、法的なものの見方を身につけることができます。少々難解な文章を読み通す力を養いたい人にも向いています。

日本文学
楠田 剛士



❶小売、金融、サービス、公務員など
❷文学表現の細部に注目しながら、歴史・社会・文化の問題を幅広く考えていきます。研究対象は ミステリー、ＳＦ、児童文学でもいいし、音楽、絵画、映画と関連付けて論じても構いません。物語を読むことが好きな人におすすめします。

文化人類学
李 善愛



❶公務員、民間企業など
❷地域別に異なる暮らしをする異文化は自文化を映す鏡です。本での理解と実践のズレを埋めるため、当ゼミはフィールドワークで人々の声を直接聴きます。異文化に触れて身近な当たり前を問い直し、自ら納得できる答えを一緒に探してみませんか？

国際関係論
谷口 美代子



❶マスコミ、コンサルティング、IT、公務員など
❷戦争、気候変動、社会の分断、排外主義、貧困と格差、大国政治、暴力的過激主義――いま、国際社会は、様々な危機が複雑に絡み合う大きな転換期にあります。私たちは、この世界をどう読み解き、どう向き合えばよいのでしょうか。本ゼミでは、ひとつの正解のない問いについて学生が主体的に議論し、根拠に基づく自分なりの解を導き、社会にどう関わるかを考えます。

CLIL（内容言語統合型学習）
モーク・カタリーナ



❶ジャーナリズム、マーケティング、ビジネス、国際関係、教育など
❷このセミナーでは CLIL（内容言語統合型学習）を通して英語でメディアリテラシーを学びます。文法・語彙のサポートもあり、プログラムが進むにつれ自立した学習者を目指します。一定の英語力が必要です。

哲学・倫理学
八重樫 徹



❶公務員、IT、航空など
❷哲学・倫理学の様々なテキストを読み、内容について議論することを通じて、論理的・批判的思考を磨くことを目指しています。物事を多角的に深く考えられる学生、議論したり人の話を聞いたりするのが好きな学生に向いていると思います。

地域文化
茶園 梨加



❶新聞社、自動車業界など
❷地域と文化表現の関わりを探究するゼミです。ゼミでは、美術館や博物館の展示を観覧したり、神楽、流鏑馬（やぶさめ）の見学に出かけたりします。表現の実践者（美術家や記録作家など）からお話を伺うことを通して、地域と表現のつながりについて学んでいます。

教育学
寺町 晋哉



❶教員、民間企業、大学院進学など
❷「当たり前」とされている学校や社会のしくみを、いろんな角度から問い直すゼミです。教育以外に関心があっても大歓迎。自分の興味あるテーマをとことん考え抜き、それを人に伝える力を身につけられます。じっくり考えるのが好きな人に向いています。

国際経済学
稲田 光朗



❶銀行、保険、証券、貿易実務、国際物流、不動産管理、商社、公務員

❷国際経済の繋がりと摩擦について勉強します。こうした勉強は、米中対立・トランプ関税・為替問題・外国人労働者をめぐる問題などグローバル経済に起因して地域社会に影響を与える問題について関心を持つ学生に、理論と統計に基づき深い理解を与えてくれます。

英米文学
村上 幸大郎



❶航空、教員、ホテルなど

❷英語で書かれた文学作品を丁寧に読み、登場人物の心情や、作品が書かれた時代の文化や歴史について考察を深めます。英語の読解力を高めたい方、英語圏の文化に興味のある方、そして物語が好きな方が多くのことを学べるゼミだと思います。

公共政策学
清水 習



❶教員、公務員、IT、酒販など

❷社会や政策をめぐる身近な問題を題材に、「なぜそうなっているのか」を自分で考え、議論するゼミです。多様な視点から物事を捉え、調査や議論を重ねながら、最終的に「大学やゼミで学んだことを社会にどう活かせるか」を自分で考え、自律した人間になることを目指します。

言葉と社会
リチャーズ・ポール



❶公務員、教員、旅行業界など

❷方言やジェンダー、メディア、流行語など身近な言葉から社会との結びつきを探るゼミです。普段何気なく使う言葉への「なぜ？」を研究につなげ、調査や分析などの研究プロセスを実践的に習得していきます。

メディア史
金子 龍司



❶公務員、金融、メーカーなど

❷「生きている人と同じくらい昔の人にも興味を持てる人」や、「今、正義とか正しいとされていることに違和感や振り回されている感を禁じえない人」に向いています。過去を当事者の視点で再現することで、現在の「正義」や「正しさ」を相対化して疑ったり抗ったりする姿勢が身に付きます。

健康・スポーツ科学
田川 要



❶食品・農業関連（特に総合職や事務職）

❷健康寿命の延伸をテーマに、運動、音楽、睡眠など身近な生活習慣と健康の関係についてデータをもとに探究します。文系・理系を問わず、健康づくりに興味があり、科学的な視点で論理的に考える力を身につけたい学生におすすめです。

コミュニティ・社会心理学
川瀬 隆千



❶金融、航空、公務員、教員、大学院進学など

❷身近な他者や人間関係が私たちの思考や感情、行動にどのような影響を与えるのかについて研究します。人間の心の仕組みを探究したい人や複雑な人間関係を紐解いてみたい人、自分自身について知りたい人などは楽しく勉強できると思います。

情報デザイン
森部 陽一郎



❶IT、航空（CA・GS など）、公務員など

❷情報デザインは、情報の「かたち」に着目して、人間中心的な情報伝達を考えます。本ゼミでは、フィールドワークなどを行い実際の問題を解決するために情報デザインの手法を使って活動を行います。したがって、自ら動いて情報を集め判断する積極性がある学生が向いています。

広告コミュニケーション
森津 千尋



❶情報、放送、運輸、ホテル、サービス、公務員など

❷地域や身のまわりで起きている問題について、データや本・資料を調べ、実際にフィールドワークを行いながら「よりよくする方法」を考えます。グループで意見交換しながら、日常生活の中での新しい発見やアイデアを探求します。

情報社会学
梅津 顕一郎



❶公務員、金融、放送（テレビ局など）、情報など

❷国際情報学科では珍しい、人文社会系のゼミです。情報社会とその文化について、社会学的な視点から批判的にとらえ、どうすればより幸福な社会生活を目指せるのかについて考えていきます。

情報システムと AI
髙塚 佳代子



❶ IT、公務員、製薬など

❷ AI を使って、人の行動や社会課題の背後にある「見えない構造」をデータから探ります。身近な疑問を研究テーマに変え、データ分析を通してその解決方法を一緒に考えるゼミです。

産業技術・教育情報科学
日髙 義浩



❶ IT、教員、公務員など

❷ IT 技術を使ってモノを作ったり、イベントを実施したい。情報の教員になりたい。そんな思いを持ち、「情報」に興味・関心を持っている人は、楽しいゼミだと思います。

地震・津波防災フィールドワーク
山下 裕亮



❶公務員、IT、営業職、大学院進学など

❷地震・津波に関する基礎的な知識とその不確実性を理解し、防災・減災に活かす様々な取り組みを進めています。命を守るために本当に必要な知識も身につきます。地震・津波災害で悲しむ人を１人でも減らしたい、その気持ちがあれば大丈夫です。

データサイエンス
ラスルマナナ・ウンジャニエン・ミアニン・ハリズ



❶ IT、マーケティング、企画、金融、調査など

❷身近なテーマや出来事を数字やグラフで確かめてみたい人に向いているゼミです。自分で問いを立てて、データを集めて分析して、結果を解釈します。仲間と話し合いながら考察することで、伝える力も育てます。



先生たちの主な研究テーマは、こちらをチェック!

※今回ご紹介するゼミは、教員の異動等の理由により、変更となる場合があります。予めご了承ください。

ゼミで見つける、大学での学び

あなたが「面白そう」「もっと知りたい」と感じるゼミは見つかりましたか？大学での学びは、先生の話を聞くだけではありません。自分の興味や身近な疑問を出発点にして、調べたり、考えたり、友人と意見を交換したりしながら、少しずつ学びを深めていくことができます。
リベラルアーツの宮崎公立大学では、常におよそ 30 のゼミが開講されています。テーマは、社会の出来事、文化、言語、情報、AI、データ、防災など様々です。高校までの学びとは少し違い、気になったことを自分で追究できるのが大学のゼミの魅力です。ひとつのテーマを深く学ぶことで、ほかの分野とのつながりにも気づくことができます。
ゼミでの学びを通して、自分の「好き」や「なぜ？」を大切にしながら、新しい発見に出会えるはずです。宮崎公立大学で、自分らしい学びを見つけてみませんか？

副学長　四方 由美





学生企画 1

知ってほしい MMUのおもしろ講義

2年生の必修科目 **基幹演習 A** をご紹介します！
さらに、今回は全体発表会で特に評価の高かった
3グループに取材を行いました！



今回ご紹介するのは、令和８年度に開講した講義の内容です。宮崎公立大学は、令和９年度にカリキュラムの改定を行いますので、講義名や講義内容の一部が変更になります。ご了承ください。

基幹演習Aとは？

この講義は､①論理的思考力、情報収集力、情報整理能力等のアカデミックスキルを身に付ける、②ディスカッション等を通じたアカデミックなコミュニケーションスキルを身に付ける、③チームワークや責任感などの社会人スキルを身に付けるの３点を到達目標にしています。

具体的には、グループワークを通じて、グローバル化し複雑化する地域の課題を発見し、その実践的解決策を模索します。

今年のテーマは、公共施設としての「宮崎市フェニックス自然動物園」及び「フローランテ宮崎」の活性化です。

グループワークでは、まず、自分たちの取り組むテーマを決定します。次にグループごとに情報リサーチ､ディスカッション等を通じて課題の具体化と、問題解決策の策定を行います。

所定のワークシートを用いて、①解決のために必要な情報（ 単に現状だけでなく、問題の原因となる背景や解決策として優れた先進事例など ）を的確に把握し､②論理的な思考力に基づいたディスカッション等を通じて解決アイディアを模索します。また、プレゼンテーションの準備も行います。

発表会では、グループごとに考えた解決アイディアについてのプレゼンテーションと、ディスカッションを行います。

講義の流れ

■ 第１回　ガイダンス
基幹演習のねらいや進め方の詳細について、担当の先生から説明します。
また、実地調査のグループ分けを行います。

■ 第２回　外部講師による講話
外部講師をお招きし、テーマとなる施設の目的や課題について講話をしていただきます。

■ 第３回　実地調査
大学からバスで動物園もしくはフローランテに向かいます。

■ 第４回～第13回　グループワーク
まず、調査テーマを決定します。次にワークシートや各自で準備した資料を活用しながら、ディスカッションを通じて、具体的な課題の絞り込みや解決のためのアイディア策定、発表会に向けた準備等を行います。



■ 第14回～第15回　発表会
グループワークでまとめた内容について、全体の発表会を行います。

1 フローランテ宮崎「Chill活」計画
～「Chill」をテーマにした体験型ナイトシネマ～



企画概要を教えてください！
若年層の来場者減少や広場の未活用という課題に対し、「ナイトシネマ」を提案しました。野外で映画を楽しむことで、幅広い世代の来園を促します。

調査過程のトピックを教えてください！
TikTok などを参考に、見やすく楽しめるスライドを意識しました。文字を減らし、発表内容が伝わりやすいデザインに工夫しました。



講義の「おもしろ」ポイントを教えてください！
「やってみたい！」を形に出来ることが「おもしろさ」だと感じました。チームで意見を出し合い、企画を実現することができ、達成感を得ました。

発表に向けて工夫したことを教えてください！
ナイトシネマならではの費用や雨天対策に苦戦しましたが、コスト削減案や「雨をメリットに変える」発想で課題を乗り越えました。



2 FLOWER CONNECTION

企画概要を教えてください！
データ分析をもとに、２月の集客向上を目指し、花と人と地域をつなぐフラワーバレンタインを提案しました。

講義の「おもしろ」ポイントを教えてください！
課題に対して、多様な視点やアイデアを出し合い、それを企画に落とし込む難しさを学びました。



3 フローランテ宮崎の活性化

企画概要を教えてください！
フローランテ宮崎をさらに盛り上げるために、流行と花をかけ合わせた企画を提案しました。

講義の「おもしろ」ポイントを教えてください！
企画の実現可能性と創造性を考慮しながら、多角的な視点から何度も話し合いを重ね、案を練り直しました。

教員インタビュー

基幹演習 A の学びのポイントを教えてください！
宮崎市フェニックス自然動物園やフローランテ宮崎を題材に、施設をより魅力的にするためのアイディアをグループで考えます。実際の施設について調べ、話し合いながら課題やテーマを設定し、最後には自分たちの提案としてまとめて発表します。調査、議論、企画、プレゼンテーションまでを一つの流れとして経験できる講義です。

基幹演習Aの「おもしろ」ポイントを教えてください！
本講義では、実際に宮崎市フェニックス自然動物園とフローランテ宮崎を訪問します。現地を歩いて、自分たちが気になったことや「ここをもっとこうしたら面白いのでは」と感じたことを、その後のグループワークにつなげていきます。決められた答えを覚えるのではなく、自分たちでテーマを見つけ、アイディアを考えて提案できるところが、この講義の面白さです。



清水 習 准教授
人文学部国際文化学科所属。専門は公共政策論。令和８年度は、主に公共政策学、行政論、政治経済学などの講義を担当している。

学生企画 2

3人の先輩の ターニングポイント Turning Point

先輩 01 吉本 夏楓（よしもと かえで） 先輩

人文学部３年〈教育心理学ゼミ所属〉

出身：長崎県
出身校：長崎日本大学高等学校
中高時代の活動：生徒会会長
好きなこと：ホラー映画鑑賞、プロレス観戦



Before
外国籍の方に話しかける勇気がなく、どのように話せばいいのか分からなかった。

After
自ら話しかける勇気がつき、異文化交流を心から楽しめるように！



インタビュー

Q. 一番変わったことは？
スターバックスでの接客を学んでいく中で、海外からのお客様と話すことへの緊張感がなくなり、自ら声をかけられるようになったこと。学内外においての異文化・国際交流や学生パートナーへの参加など新しい挑戦にも繋がった。

Q. 今、頑張っていることは？
就活を意識した資格取得、インターンシップへの参加、企業分析。また、英語力向上のための学習。

高校生へのメッセージ

挑戦することを恐れず、まずは会話をしてみてください！最初は不安の方が大きくても、勇気を出して話しかけた先には新しい出会いや自分自身のさらなる成長があります。ぜひ、勇気を出して国際交流の楽しさを経験してみてください！

先輩 02 田浦 天衣瑠（たうら あいる） 先輩

人文学部３年〈外国語読み聞かせ部所属〉

出身：鹿児島県
出身校：鹿児島県立志布志高等学校
中高時代の活動：バドミントン部、書道部
好きなこと：映画鑑賞



Before
責任感が乏しく、計画を立てて行動することが苦手だった。

After
英語のスピーキング力が上達し、話したいことをスラスラ言えるようになった！挑戦することの大切さを学び、計画性が身に付いた✨



インタビュー

Q. 一番変わったことは？
社交的・フレンドリーになった。相手の人間性を見ることを意識するようになったことで、会話への恐怖心がなくなり、「みんな友達になれる」と思えるようになった！何事にも挑戦する自信がついた。

Q. 今、頑張っていることは？
９月から１２月までのカナダへの公費留学に向けた準備と心構え。目的を持って挑戦できるよう英語の勉強を頑張っている。

高校生へのメッセージ

最初から完璧な理由や目的がなくても大丈夫です！『面白そう』という気持ちでまずは一歩踏み出して欲しいです。やりたいことを諦めずに挑戦すれば、きっと新しい自分に出会えます。宮崎公立大学なら、全力でトライ出来る環境が整っています。ぜひ挑戦してみてください！

先輩 03 梶原 一葉（かじわら かずは） 先輩

人文学部２年〈韓国文化研究部所属〉

出身：宮崎県
出身校：宮崎県立宮崎大宮高等学校
中高時代の活動：放送部
好きなこと：ゲーム、ドラマ鑑賞



Before
受動的な人間で、自分から考えて行動することが出来なかった。

After
TOPIK５級に合格し、何事にも自ら積極的に行動できる自信がついた！



インタビュー

Q. 一番変わったことは？
めんどうくさがらず、何事にも積極的に行動するようになったこと。韓国語だけではなくニュースを見るなど話題作りにも関心を持つようになった！

Q. 今、頑張っていることは？
韓国語で話すことはもちろん、人と円滑に関わる為の「話の広げ方」を勉強中。また、韓国公費留学への挑戦。

高校生へのメッセージ

どんな興味でも否定せず、広い分野への挑戦を全力で後押ししてくれるのが公立大の魅力です。大学は自分の心を動かす何かに一番出会える場所。少しでも気になったら、まずは少しずつ情報収集を始めてみてください！

入学してから今まで、何が一番変わった？ それぞれの“あの瞬間”を紹介します！



フレンドリーな接客の徹底で「自ら話しかける勇気」を身につけた！

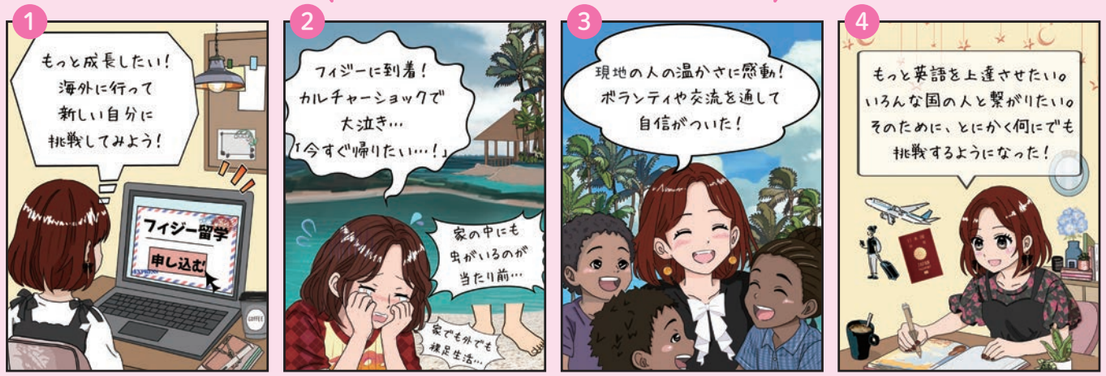
＼私のターニングポイントはこの瞬間！／





「フィジー留学」での経験が価値観を大きく変えてくれた！

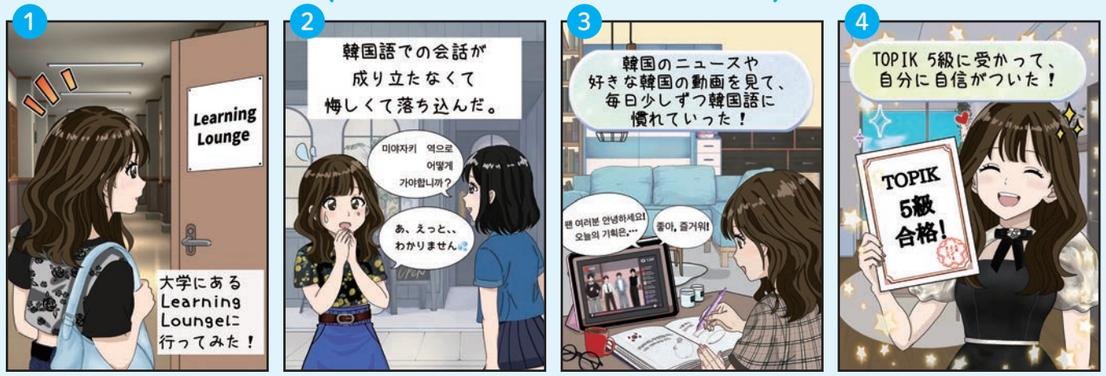
＼私のターニングポイントはこの瞬間！／





先生や先輩の高度な韓国語での会話に刺激を受けて「TOPIK5級合格！」

＼私のターニングポイントはこの瞬間！／



学生企画 3

迷ったらまずはやってみる。

先輩が語る キャリア体験の魅力

「キャリア体験は就活が始まってから参加するもの」と思っていませんか？実は1・2年生から参加できる様々な活動もあります。今回は、地域での活動を通して視野を広げた先輩2人と、民間企業での職場体験（オープンカンパニー）を経験した先輩1人に、参加のきっかけや得られた学び、1・2年生へのメッセージを聞きました。



けんた先輩 4年

活動先：宮崎市議会
活動期間：2年の夏（8～9月）



さき先輩 4年

活動先：宮崎県議会
活動期間：2年の夏（8～9月）

「いろんな業種の方と出会い、地元の魅力に気づけました」（さき先輩）
「人と話すのが苦手だったのに、2か月で自信がつきました」（けんた先輩）

Q.参加したきっかけは？

けんた：「何か経験を積みたい」と思っていたところ、友人に誘われて参加を決めました。「やってみよう」という気持ちが最初の一歩でした。

さ　き：２年生になり「この1年間、特に何もしていない」と痛感したことがきっかけです。将来の夢が決まっていなかったからこそ、いろんな仕事や人に触れ、将来について考える機会になりました。

Q.どんな活動を？

さき・けんた：議員の方の人脈を生かし、県内外での視察や地域社会について考えたり、政策プランコンテストに参加したりと、学内ではできない経験をしました。

Q.将来について変化はありましたか？

けんた：まだ就職先は未定ですが、県内に就職したいです。夢が決まっていないからこそ、今はいろんな経験を重ね、できることを増やしたいです。

さ　き：卒業後は県外に就職するつもりでしたが、宮崎の魅力をたくさん発見し、「宮崎が好き」だと気がつきました。興味を持ったメディア業界への就職にもつながりました。

Q.活動を通して、何を得ましたか？

けんた：人と話すことへの苦手意識が変わりました。様々な人と関わる中で、「人と話すのは楽しい」と思えるようになり、今では初対面の人にも積極的に話しかけられるようになりました。

さ　き：農業や工業など普段関わることができない業種の現場など県内各地を訪れ、視野が広がりました。チーム活動からプレゼンテーションなど実践的な力も身に付きました。

Q.1・2年生から参加するメリットは？

けんた：仕事を知るだけでなく、人との出会いを通して自分自身を変えることができるのが魅力です。大学生活は、待っているだけでは何も始まらないと思います。

さ　き：いろんな業界を知ることで、自分の「好き」や「興味」に気づくことができることです。就職のためだけでなく自分の可能性を探す機会になると思います。

後輩へメッセージを！

けんた：私が大切にしているのは、「迷ったらやってみる」ということ。いろんな人の話を聞き、新しい出会いや経験を増やしてほしいです。

さ　き：自分から情報を掴みに行ってほしいです。１年生のうちから、興味があることには、まず飛びついてみてほしいと思います。

「まずは、やってみる」を第一歩に

キャリア体験は、将来の仕事を決めるためだけのものではありません。知らなかった仕事や地域の魅力、自分の新たな一面、人とのご縁に出会えるチャンスです。まだ進路が決まっていないからこそ、できる挑戦があります。「ちょっと気になる」。その気持ちを、そのまま行動に変えてみませんか？



りな先輩 4年

活動先：民間企業3社
活動期間：それぞれ1日の職場体験

「３社をまわる中で、自分が進みたい業種が見えてきました」

Q.行った時期と業種は？

３年生の夏ごろに、航空・教育・IT系など、様々な業種の１日オープンカンパニーに参加しました。

Q.いつ頃から意識し始めましたか？

３年生になり、教員と一般企業のどちらに進むか悩んだことがきっかけで意識するようになりました。仕事を経験し、自分にとって魅力的な仕事かを知ることができるのがオープンカンパニーの良さだと思います。

Q.1・2年生の頃に力を入れていたことは？

資格取得と、大学の課題を計画的に取り組むことに力を入れていました。英検にも何度も挑戦し、できるだけ単位を落とさないように取り組んでいました。

Q.オープンカンパニーを通して得られたものは？

３社を経験する中で、自分がどんな仕事や働き方に魅力を感じるのかが分かりました。そこで得た自分の価値観をもとに、就職活動を本格的に進めることができました。

Q.その他にも力を入れていることは？

英語科の教員免許の取得にも挑戦しています。授業や実習と就職活動の両立は大変ですが、「もう一つの選択肢を持っておきたい」という思いで頑張っています。

Q.1・2年生のうちに「もっとしておけばよかった」と思うことは？

留学や旅行など、海外に行く経験をしておけばよかったと思います。海外の文化や価値観に触れることで、将来の選択肢もさらに広がったのではないかと思います。

Q.他に力を入れていた活動はありますか？

警察の方と一緒に、非行少年等防止ボランティアに２年間参加しました。様々な年代の方との活動を通して学んだチームワークや経験を、採用面接でも伝えることができました。

後輩へメッセージを！

周りと比べて焦ることもあると思いますが、自分のペースで考えることが大切です。1人で抱え込まず、周りの人にも相談しながら、最後は「自分が納得できる就活」を目指してほしいです。

＼記者もキャリア体験プログラムに参加しました／

●きっかけ

今回インタビューを受けていただいた先輩から紹介してもらい、「１年生でも挑戦できるなら！」と参加を決めました。

●1年生の今、意識してやっていること

とにかく何事にも積極的に全力で動くことです。校内活動やアルバイト、習い事のフラダンスなど、興味を持ったことにはまず挑戦し、できることは全力で取り組んでいます。

●高校生のうちにしておけばよかったこと

英語に特化した学科でしたが、商業科目の魅力にもはまり、英語の勉強が疎かになった時期がありました。やりたいことが増える高校生活だからこそ、将来のために今何を優先すべきかを考えて動いておけばよかったと思います。

●これからキャリア体験等を考える人へ

「やってみたい」と思うだけでも立派な一歩です。偶然の出会いが新しい経験に繋がることもありますが、まずは自分から情報を探して、時間を作り、色々なことに挑戦してみてはいかがでしょうか。



1年生：小川美羽さん

センパイ

留学のホンネ、教えてください！

留学を経験したMMUの学生に、留学の“リアル”を聞いてみました。

※こちらに記載する情報はあくまで一例です。
※費用は概算です。旅行時期や国際情勢により変動する場合があります。

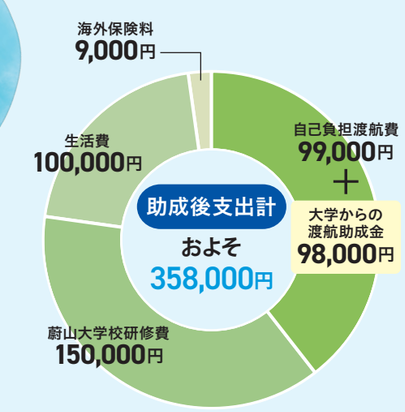


Pattern 01 木田 成美さん

留学方法　異文化実習
留学先　韓国
留学期間　2025年8月（約3週間）

》異文化実習とは…

宮崎公立大学の学術交流協定校で実施される、約１か月間の短期留学プログラムです。語学プログラム（英語・中国語・韓国語）と文化体験プログラムで構成され、正規授業として実施されます（単位認定あり）。



ここだけの話

オープンキャンパスで、異文化実習に魅力を感じ、「絶対に宮崎公立大学に入学して、異文化実習に行く！」と決めていました。留学直前に、不安から諦めてしまうことがないように、友達や高校の先生などたくさんの人に留学に行くことを宣言して、モチベーションを高めていました。

留学を終えて

バスの乗り方、注文の仕方など、何事にも常に異文化を感じ、日本語がない空間がとても新鮮でした。間違いなく今までの私の人生で一番刺激の多い３週間でした。留学に少しでも興味があるなら、行った方が良いです！まずは短期（異文化実習）から挑戦することをお勧めします。





Pattern 02 黒田 七海さん

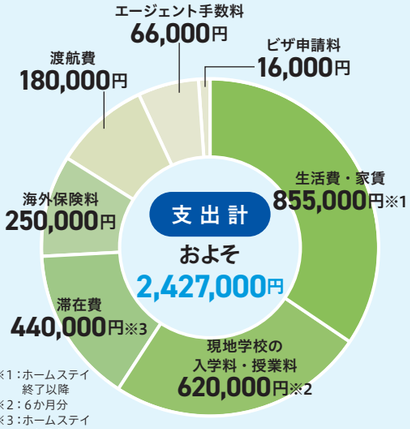
留学方法　私費留学・ワーキングホリデー
留学先　アイルランド
留学期間　2025年4月～2026年4月

》私費留学とは…

宮崎公立大学を半年間または１年間休学し、自分で決めたプランで留学する自由度の高いスタイルです。留学手続きは自分自身orエージェントで行います。

》ワーキングホリデーとは…

「異文化交流」や「休暇」を主な目的とする制度ですが、一定期間、現地の学校に通ったり、滞在費を補うために、現地で働いたりすることも認められています。



※1：ホームステイ
終了以降
※2：6か月分
※3：ホームステイ
2カ月分

ここだけの話

海外へ留学することは、大学入学前から決めていました。アイルランドへの渡航を決めたのは、渡航の約半年前です。最終的な決め手となったのは、他の留学先と比較して日本人が少ないことと、ヨーロッパの近隣国へ気軽に旅行できることです。生活で大変だったことは、「天気」です！サマータイムの期間は晴天が続き、午後10時頃まで明るい一方で、サマータイムが終わると夕方４時頃には暗くなります。また、曇りや雨の日も多いため、常に折り畳み傘などの準備が欠かせませんでした。

留学を終えて

留学後半にはカフェで働いたり、ヨーロッパ各国へ旅行したりと、非常に充実した毎日を過ごすことができました。留学しなければ経験できなかったことを、大学生のうちにたくさん経験できたことは、私にとって大きな財産になりました。宮崎公立大学では、多くの学生が留学に挑戦しています。「留学やワーキングホリデーに行きたい」と思ったときに、実際に行動することには勇気が必要ですが、私は大学生のうちに一歩踏み出し、留学を経験することができて本当によかったと感じています。











Pattern 03 橋本 七帆さん

留学方法　公費派遣留学
留学先　ニュージーランド
留学期間　2025年9月～2026年1月

》公費派遣留学とは…

選抜試験に合格した学生を対象に、学術交流協定校へ４カ月から１年間派遣するプログラムです。本学独自の奨学金など、充実した支援制度を整えており、留学に専念できる環境を提供しています。また、留学先で取得した単位は、20単位を上限に本学の単位として認定されます。

留学に興味はありましたか？

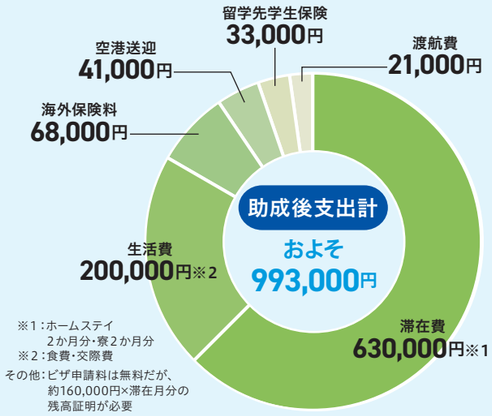
卒業が遅れることに抵抗があり、当初は迷っていました。しかし、ゼミで関心分野を学ぶ中で、現地の状況を自分の目で確かめたいという思いが強まり、留学を決意しました。ゼミの担当教員からすすめてもらったことも大きな後押しとなりました。宮崎公立大学は教員と学生の距離が近いため、様々なことを相談しやすい環境です。こうした環境も、留学を前向きに考えるきっかけになりました。

学びの様子を教えてください！

私が留学したワイカト大学には、80か国以上から学生が集まり、様々な出会いがありました。クラスメイトや先生にも恵まれ、楽しく英語を学ぶことができました。後半のアカデミックコースでは、課題やテストが増えて大変でしたが、クラスメイトと夜遅くまで勉強するなど、互いに励まし合いながら取り組みました。時には価値観の違いからぶつかることもありましたが、自分とは異なる考えを尊重する大切さを学び、学習面だけでなく人としても成長できました。

留学の感想を教えてください！

とにかく、留学して本当によかったです。この経験を通して、自分に自信がつきました。選抜試験や渡航準備、現地での生活など、乗り越えるべきことは多くありましたが、一つひとつ乗り越えるたびに自信につながりました。また、留学中は、同じ目標を持つ人や尊敬できる考え方を持つ人など、多くの素晴らしい出会いに恵まれました。これから先、困難に直面したときも、留学で得た自信と経験がきっと自分を支えてくれると思います。



※1：ホームステイ
2か月分・寮2か月分
※2：食費・交際費
その他：ビザ申請料は無料だが、約160,000円×滞在月分の残高証明が必要

公費派遣留学を選んだ理由は？

金銭面での支援が大きかったからです。渡航先の授業料や渡航費に加え、毎月の生活費まで助成されるため、経済的な負担を抑えて留学に集中できると考えました。また、選抜試験を経て派遣される公費派遣留学は、単に留学するだけでなく、大学から選ばれて派遣されたという実績にもなります。実際に就職活動でも、その実績が評価につながったと感じています。

生活の様子を教えてください！

前半の２か月はホームステイ、後半の２か月は大学の寮で生活しました。ホームステイでは、ホストファミリーが親戚や友人の家、旅行などに連れて行ってくださり、楽しく過ごすことができました。特に７歳のホストシスターとはよく遊び、宿題を手伝ってもらうなど、慣れない生活の中で彼女の優しさに何度も支えられました。後半の寮生活では現地の学生と親しくなり、一緒に料理や食事、ビリヤードなどを楽しみました。様々な国の学生と交流し、留学ならではの思い出をたくさん作ることができました。

留学を目指す方へアドバイス！

私が留学するうえで最も大切だと思うのは、「自分だけの目的・目標を持つこと」です。言語や文化を学ぶことはもちろんですが、「なぜ留学するのか」「留学中に何を達成したいのか」を明確にすることで、留学の質が大きく高まります。私は、関心のある「インクルーシブ教育」(注) を現地で学ぶために、ニュージーランドの幼稚園でフィールドワークを行いました。自ら見学のアポイントを取り、企画・実施したことで、困難なことがあっても目的を意識しながら取り組むことができました。また、明確な目標を持つことは、選抜試験に合格するうえでも大切だと思います。ぜひ皆さんも自分だけの目標を持って、留学に臨んでください！

(注)インクルーシブ教育：障がいの有無や国籍、人種、宗教、性別などの違いにかかわらず、すべての子どもたちが同じ場で共に学ぶ教育の仕組みのこと

Pick Up!



公費派遣留学では、大学から手厚い支援がありました！

大学からの助成	
MMUの授業料免除	267,900円
渡航先の授業料免除	837,000円
生活費（100,000円×５か月）	500,000円
渡航費	160,000円
助成金計	1,764,900円

CIRCLE de GOSHiP

MMUの部・サークル等に関する噂の真相を調査

気になるあの部の噂の真相を確かめてみました！

国際ボランティア部

Q1.部の魅力を教えてください

「国際系」の部活です。外国人と関わる機会が多く、生きた英語を話せるのが魅力です。フレンズカフェやムービーナイトなど、毎回内容の違うイベントがあるので飽きません。

Q2.普段の活動内容を教えてください

地域に住む外国人と交流するイベントを企画しています。英語の映画を観る「ムービーナイト」、ランチをしながら話す「ランチミーティング」、外国人と直接交流する「フレンズカフェ」などです。またフィリピンやシンガポールの方とオンラインで日本語を教え合う会も月1回開いています。

Q3.活動をしていてよかったと思う場面を教えてください

間違いを恐れずに話しかけるカもつきましたし、日常会話の語彙も増えました。旅行先やアルバイト先で外国人に出会うと自然に話しかけられるようになり、活動の場が学外にも広がっていく実感があります。

Q4.活動の場を教えてください

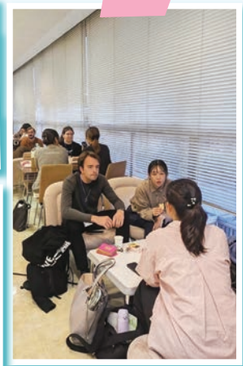
学内イベントを開いていますが、それだけではありません。文化祭でのブース出展、街中や旅行先、アルバイト先で外国人と出会って話すこともあります。

Q5.最後に一言お願いします

英語を話したい、外国人ともっと関わりたいという気持ちがあれば、ぜひ来てください。堅苦しいボランティアではなく、楽しみながら異文化理解を深められる部活です。勇気を持って話しかけることが、上達への一番の近道だと思います。









紹介動画

SNS

編集後記

改めて宮崎公立大学の良さに気づく素晴らしい機会となりました。協力者の皆様への感謝と共に、この1冊がたくさんの方に届くことを楽しみにしています！

篠田里桜

この度はMMUSHiPの編集に携わらせていただきありがとうございました。忙しくなかなか時間の取れない中、企画など一から行えたことは貴重な経験でした。

岡村皓平

学生記者として記事制作に携わり、伝えたいことを形にする難しさと楽しさを実感しました。私たちの記事が、誰かの挑戦を後押しするものになりますように。

山之内蘭音

先輩と協力して作成をすることが出来、とても楽しかったです。取材した学生から刺激を貰えたり、文章作成能力が身についたりしました。

串木野由奈

今回、大学のパンフレットでサークルを紹介する機会をいただき、とてもよい経験になりました。自分たちの活動の魅力が、高校生をはじめ多くの人に伝わったらうれしいです。

水崎花香

初の学生記者を務め、高校時代に進路選択の手がかりとなった本誌を通じて、リアルな声をお届けでき、嬉しく思います。お読みいただき、ありがとうございました。

小川美羽

KYO SHiP ～MMU教員の頭の中～

講義や研究に大学運営など、忙しい日々を送るMMUの教員たち。連載企画「KYO SHiP」では、そんな教員たちの「思考の秘密」を探ります。



身近な疑問を考える面白さ

―哲学との出会いは？また、授業で笑いやユーモアについて話されているそうですが、日常の様々なことに哲学を取り入れる面白さを教えてください。

哲学は高校時代に出会いました。小説を読むのが好きで、書こうとしてもうまく書けない。それなら何を勉強すれば良いかと考えたときに、作家には哲学を学んだ人も多いと知って興味を持ちました。哲学科のある大学に進学し、１年生で受けた授業が面白くて西洋哲学を学ぶようになりました。哲学は日常の事柄をピックアップすることがよくあります。差別や芸術、笑いなどですね。多くの哲学者が笑いを説明しています。例えばホッブズは何らかの優越感を描いたときに笑うと表現していますし、カントやショーペンハウアーは、ズレや不調和が笑いの本質としています。このように、漫才をカント的やホッブズ的などと分析しながら見ると、自分とは違う視点で観測できて面白いんです。

―街中の書店で「哲学対話」に取り組まれていると聞きました。書店という場所で語り合う良さを教えてください。

「哲学は難しそう」とよく言われます。そんな固定概念を少しでも変えるために、書店という誰でも参加しやすい場所で「哲学対話」を続けることにやりがいを感じています。様々な人が、それぞれの考えを話すとごちゃごちゃしそうですが、意外とかみ合っていくのが面白いです。音楽のライブのように、コール＆レスポンスやグルーヴ感が生まれるのを感じます。書店という場所柄、本を好きな人が集まり、好きなものに囲まれているから話しやすいともいえそうです。話をするときに人の顔以外に目に入るものがあることで、顔に視線が集中しないという良さもあります。

※哲学対話とは…専門知識は不要で、日常の素朴な疑問や答えのない問いを参加者でともに深く考える活動。「否定的な態度をとらない」「聞いているだけでもいい」「自分の経験に即して話す」などのルールのもと、誰でも気軽に参加できます。

―「哲学」は身近な疑問を考え、議論する楽しさに満ちているそうですが、議論する魅力を教えてください。また、これから進路を選ぶ学生に何かメッセージをお願いします。

私のゼミでは、普段なら掘り下げないものを掘り下げる面白さや、日常会話ではしないような抽象的で深い話をする楽しさに触れられます。うまく掘り下げて問うことで、筋道立てて表現するスキルが得られます。哲学的視点は、企業の組織作りのヒントになりますし、AIとの関わりにも役立ちます。意外と楽しい学問ですよ。



PROFILE

人文学部　国際文化学科
准教授　八重樫　徹

専門は倫理学、フッサールと初期現象学。主な著書は「フッサールにおける価値と業績」(水声社、2017年)

宮崎公立大学 広報誌
MMU SHiP
vol.21
2026年11月発行
発行 公立大学法人 宮崎公立大学

〒880-8520宮崎県宮崎市船塚一丁目1-2
電話：0985(20)2000 FAX：0985(20)4820 https://www.miyazaki-mu.ac.jp/

宮崎公立大学 検索
ウェブサイトでも閲覧できます。

未来のCompass（コンパス）
社会で活躍するMMU卒業生に社会人としての近況を語っていただきました。



生徒と共に学び、希望のある未来へ導く

宮崎県立宮崎商業高等学校
英語科 教諭
興梠　宗真
Kazuma Korogi
令和２年度卒業生
英語教育実践学ゼミ

考えを発展させる楽しさを伝える

私が教師の仕事を意識したのは中学生の時、英語の先生との出会いがきっかけでした。先生の授業は会話が全て英語。当時、そうした授業は画期的で面白く、生徒みんなで楽しく授業を受けました。そして、先生が生徒のために授業に工夫を凝らす真剣な姿に気づき、私も先生のように自分で考えられる人になりたいという思いと、教師になるという将来の目標が生まれました。その目標を叶えるため、英語の教員免許の取得が目指せることに加え、幅広い学問分野を主体的に学ぶことができるリベラル・アーツ教育に魅力を感じ、MMUへの入学を決めました。そして、教職課程を履修し、英語の高等学校教諭一種免許状を取得しました。

現在は、高校の英語教諭になって6年目です。教師は、生徒に知識を教えるだけでなく、時にはその生き方にも関わる大きな責任を伴う仕事です。その一方で、私自身も生徒たちと共に学び、元気をもらいながら日々を過ごしています。特に高校生は、将来の進路を考え、社会へと歩みだす大切な時期にあります。生徒一人ひとりの不安や希望に寄り添いながら、のびのびと楽しく学べる教師になりたいと思っています。実際の指導においては、生徒が学びを自分の中に落とし込み、そこから考えを発展させる楽しさを伝えています。豊かな知識は世界を広げ、生き方の選択肢を増やすものだと考えているからです。生徒に指導する際に、社会を構成する様々な分野についてMMUで学んだ経験や、そこで得た視点が役立っています。英語教育実践学ゼミで修得した発問法や、幅広く英語に触れる中で培った力を日頃の授業に生かし、ニュースや英語論文を題材にしながら、行間を読み解く力を身につけられるようサポートしています。

コロナ禍での挑戦が大きな自信に

3年生と4年生のときにコロナ禍と重なり、海外留学が中止、授業はリモートになりました。社会が混乱し、行動制限もある中、毎年開催されていたバスケットボールの宮崎県内リーグ戦も中止になりました。しかし、小学生から今まで打ちこんできたバスケットボールをこのまま終わらせたくないと、4年生のときに学生だけで大会を運営し、県内リーグ戦を復活させました。大会参加者としてだけでなく、運営側の役割も担うことで、未曾有の出来事の中、開催に向け必死で考え、企画、挑戦し、成功させたことが大きな自信と成長に繋がったと感じています。今は学校の部活動顧問としてバスケットボールに関わっています。

自分の枠からはみ出してみよう

教員採用試験対策では、MMUの教職支援担当の先生から、手厚いサポートを受けました。その先生が、「講師をしながらでも採用試験を頑張ることはできるから、大丈夫」とかけ続けてくださった言葉は、精神的な支えになりました。高千穂高校で講師として2年間、飯野高校を初任校として2年間勤務し、現在の宮崎商業高校に着任して今年で2年になります。今年度受け持つクラスでは、MMUで培った「枠からはみ出ることや挑戦を恐れない」を指導方針に、「自分がワクワクする方を選ぶ」をクラスのテーマにしました。生徒が楽しく高校生活を送れるようになることが、私のゴールです。

大学生の貴重な時期をコロナ禍で過ごしましたが、今を乗り越えたいと考え、自分なりに活動できたことは、MMUの理念に触れ、大学での学びを通して、自分たちの思いを実現するためのヒントを与えていただいたからこそだと思います。後輩のみなさんも、MMUで楽しそうだと思えることにたくさん出会って、自分の枠からはみ出してください。応援しています。

宮崎県立宮崎商業高等学校

1919年創立の伝統校。宮崎県教育方針および宮崎県人権教育方針に基づき、郷土及び社会の発展に寄与すべく、校訓「克己求道」の精神のもと、優れた知性と人間的魅力にあふれ高い志を備えた有為な人材を育成し、社会の負託に答える学校を目指す。現在、卒業生の約８割が進学を選択。在学中の資格取得で県内優良企業への就職も多数。